

## 1. 学校の教育目標

どの子ども育つという信念のもとに幼児のみが持つ可能性を育むため、遊びと学習の一体化を図って、子供達が持つ興味と意欲を高めながら、健康で逞しい心と体の育成に取り組む。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した

## 学校評価の具体的な目標や計画

新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、通常の保育環境を提供し、行事においてもコロナ前の状態に戻すために、教育課程においては、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に則り、非認知領域におけるやる気、協調性、社交性、及び忍耐力に重点を置き各学年の毎月のねらいを明確にし、PDCA サイクルに基づいた教育を行う。

学校運営については、加速度的な少子高齢化社会に対応するために、1号認定の定員変更を行い、限りある経営資源を適数適材適所の方針に則り、人材育成、教職員養成校との連携強化、子供の主体性を大切にする環境の充実を図る。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目		結果	委員会の提言
規律性	職場の秩序を乱すようなことはなかったか。遅刻・欠勤はなかったか。健康管理はできていたか。	B	本年は土曜保育を専任にし、有給休暇の計画的付与によりほぼすべての教職員が100%消化を実現した。
協調性	上司・同僚との人間関係に気を配って仕事をしているか。職場の和を乱していないか。	D	保護者とSNSを交換していた教員による情報漏洩を把握し、嚴重注意処分とした。
積極性	与えられた仕事に前向きな姿勢で取り組んだか。仕事に対して不平不満を言うことはなかったか。	D	近年の人材育成により、担任候補となる人材が多すぎてしまい軋轢を生み、管理職の指示を聞かない教員が多くなってしまった。
責任	与えられた仕事に対する責任感が感じられるか。仕事においていい加減な態度をとることはなかったか。	A	保護者対象のアンケート、近隣小学校教諭へのアンケートを実施し、各々の要望把握に努め日々対応した事で、担任は概ね高評価であった。
応用力	臨機応変に仕事をしているか。固定観念にとらわれず、新しい発想をしているか。	C	家庭での学習促進の為の長期休暇中の宿題作成、動画配信等を行った。
報告	参考になる情報は、他の教職員にも伝えているか。上司に報告・連絡・相談は行っているか。	C	前述したように、経験年数や年齢の異なる者同士が話し合う重要性の認識不足により、管理職と実務担当者との業務に支障をきたした。
事務管理力	教育活動に付随する事務や学園が定めた手続きなどを正しく処理することができるか。	A	煩雑な作業も月毎、学期毎、年毎での長期的な視野を持ちながら、一つ一つの業務を丁寧に執り行えるよう努めた。
成績考課	PDCA サイクルを意識し、目標を達成しているか。	A	自園の教育課程と、幼稚園教育要領を照らし合わせ、職員会議や学年会議等で話し合い、

			共通理解に努めている。
--	--	--	-------------

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
C	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、コロナ前の教育環境に戻せるよう努めた。実績として、行事においてはお泊り保育をコロナ前の場所である秩父の両神で行い、お遊戯会を草加市文化会館で行えるようになった。</p> <p>教職員と園児はコロナ前の経験したことのない行事や教育活動、食育活動を経験でき、子供が主体性を持つ、可能性に満ち溢れた人に成長させられるよう、限りある経営資源を最大限活用した。幼保交流の実施や、各種制度の見直し、定員減少変更、常勤・非常勤割合の確認を積極的に推し進めた。</p> <p>令和6年度は、学園全体で適数適材適所の人材配置を徹底し、懸命に業務を行っている方に対しては誰にとってもより働きやすい職場にし、持続可能な教育・保育を提供できる学園を作りたい。</p>

#### ※3.4 の評価結果の表示方法

S	十分達成されている
A	達成されている
B	概ね達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分ではない。
D	取り組みが不十分である

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
多様な人材の登用	昨年度までは幼稚園部門の担任において20代が多かったため、社会的な常識の欠如が散見されたことを省みるに、年齢の偏りを是正し、保育補助は非常勤講師を積極的に登用する。現状、満三歳児から年長までの保育補助を全て非常勤講師に出来たので様子を観察する。
養成校との連携強化	教頭以上の職責を担う人材が、実習生オリエンテーションから学生一人一人の資質を見極め、適切な教員から指導してもらい様配慮し指導員を定め、満足度の高い実習を経た上で養成校との連携強化に努める。
教職員の資質向上	各専門的分野を活かし各研修へ積極的に参加し、研鑽を積む。